

ちがさきし ねん めざ
茅ヶ崎市は「2050年ゼロカーボンシティを目指しています」

さとやま たい
里山はっけん隊！ 「はっけん！ ノート」



にち じ れいわ ねん がつ にち どうようび じ じ ふんごろ
日 時：令和5年7月1日（土）9時～11時30分頃

こさめけっこう こうてんえんき えんき ばあい がつ にち どうようび
※小雨決行。荒天延期（延期の場合7月8日（土））

ば しょ けんりつち が さ きさとやまこうえん
場 所：県立茅ヶ崎里山公園

しゅ さい ちがさきしかんきょうせいさくか
主 催：茅ヶ崎市環境政策課

きょう さい かながわけんこうえんきょうかい おだきゅう
共 催：神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ

きょう りよく やなぎやと しぜん まな かい
協 力：柳谷の自然に学ぶ会

たいいん 隊員ネーム (ニックネーム)	す かんが 好きなニックネームを考えてきてね。
---------------------------	-------------------------------

ようこそ！

さとやま

たい

里山はっけん隊！へ

さとやま たい へいせい ねんど かいさい おやこさんかがた
「里山はっけん隊！」は、平成20年度から開催している、親子参加型の
たいけんがくしゅう ねん ぜん かい し き さとやま おとず
体験学習イベントです。2年を1サイクルとして全4回、四季の里山を訪れ、
しぜんかんさつ とお ちがさき すば さとやま しぜん
自然観察とワークショップを通して、茅ヶ崎の素晴らしい里山の自然につい
て、たくさんの「はっけん！」をしてきました。

れいわ ねん がつ だい き さとやま たい
令和4年12月からスタートした第8期の「里山はっけん隊！」は、これまで
ふゆ がつ はる がつ かいさい なつ がつ かいめ なつ さとやま
冬(12月)と春(4月)に開催し、今回の夏(7月)が3回目です。夏の里山は
みどり た みず い い かつどう
緑にあふれ、田んぼには水がはられ、生きものたちが、生きいきと活動して
おやこ み みちか しぜん かん
います。親子で見たり、さわったり、身近な自然を感じてみてください。

さっし どうじつ も もの し
この冊子では、当日のスケジュールや持ち物のほか、知っておくと「はっけん
たの しょうかい よしゆう
ん！」がより楽しくなるポイントなどを紹介！ ちょっと予習して、たくさん
「はっけん！」してみましよう♪

どうじつ あ たの
それでは、当日お会いできるのを楽しみにしています。

さとやま たい いちどう
里山はっけん隊！ スタッフ一同

里山はっけん隊！のスケジュール (当日の状況で変更する場合があります)

9:10	しゅうごう けんりつちがさきさとやまこうえん さと いえ まえ 集合(県立茅ヶ崎里山公園「里の家」前) オリエンテーション
9:40~10:20	た た ミッション① 田んぼを知ろう(田んぼ)
10:20~10:40	みずべ かんきょう はたけ むら しっち ミッション② 水辺の環境づくり(「畑の村」の湿地)
10:40~11:10	い かんさつ はたけ むら しっち ミッション③ 生きもの観察(「畑の村」の湿地)
11:10	はっぴょう はたけ むら しっち 「はっけん！」の発表・まとめ(「畑の村」の湿地)
11:30頃	かいさん 解散

しゅうごうばしょ さと いえ
集合場所:「里の家」



もよ ちゅうしゃじょう
最寄り駐車場は
きたちゅうしゃじょう
「北駐車場」です
りょうじかん じ むりょう
(利用時間9時～、無料)

さとやま たい い まえ じゅんびへん
里山はっけん隊！ へ行く前に① ~準備編~

ふくそう

服装

なが なが ぼうし なが
長そで 長ズボン 帽子 長ぐつ

しよくぶつ むし えだ きず ぶせ かなら
 植物のカブレ、虫さされ、トゲや枝による傷を防ぐため、必ず
 なが なが き よこ ふくそう なが
 長そで、長ズボンを着ましょう。汚れてもよい服装で、長ぐつも
 は ぼうし わず
 履いてきてね。帽子も忘れずに！



も もの

持ち物

ぐんて すいとう
タオル 軍手 水筒

★あると便利なもの

そうがんきょう ばい むし と あみ むし ぶくろ
双眼鏡(7~8倍がベスト) 虫取り網 虫かご ビニール袋

つ ようき こんちゆう かんさつよう ようき おお
ふた付き容器(昆虫などの観察用。プリン容器くらいの大きさ)

ばんそうこう あまぐ てんこう あめ ばあい ちゃくよう
絆創膏など 雨具(天候によって。雨の場合はレインコート着用)

しきもの すわ おお
敷物(座れるくらいの大きさのもの)

こころえ

心得！

1. リーダーの言うことを良く聞いて観察しよう。
い よ き かんさつ
2. 勝手に田んぼや畑には入らないようにしよう。
かって た はたけ はい
3. 踏み荒らさないように、なるべく道を歩こう。
ふ あ みち ある
4. ごみは必ず持ち帰ろう。
かなら も かえ
5. 危険なものには触らないようにしよう。
きけん さわ
6. 公園内ではっけんした動植物は、許可なくもち出さないようにしよう。
こうえんない どうしよくぶつ きよか だ

し ちがさき じゅうよう しぜんかんきょう ちいき
 知ってる？ 茅ヶ崎の「重要な自然環境」7地域

さとやま たい かつどう けんりつちがさきさとやまこうえん やなぎやと
 「里山はっけん隊！」が活動する県立茅ヶ崎里山公園がある「柳谷」は、
 ちがさきしな い とく じゅうよう しぜんかんきょう
 茅ヶ崎市内の「特に重要な自然環境」の一つです。

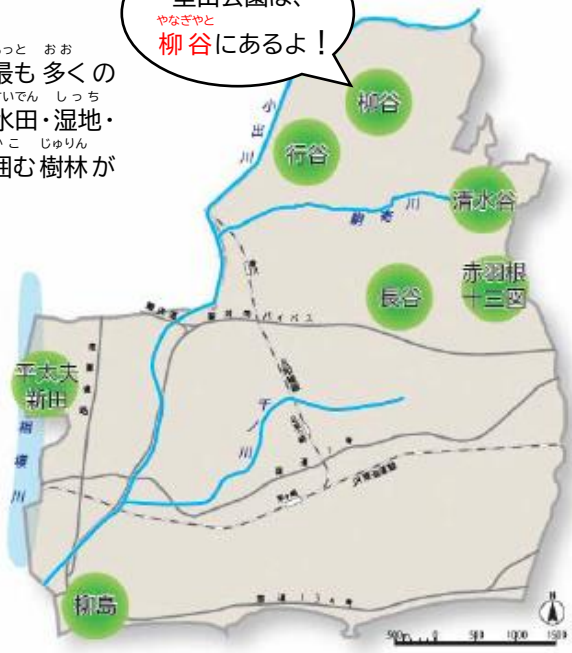
ちがさきし へいせい ねんど ねんど しみんさんか しぜん しら
 茅ヶ崎市では、平成15年度から17年度にかけて、市民参加で自然を調
 とく じゅうようど たか しぜんかんきょう ちいき ゆうせんてき まも
 べ、特に重要度の高い自然環境とした7地域を、優先的に守っていくことと
 しています。

しぜん まも ぼしよ ぼしよ じゅうよう し
 自然を守るには、その場所がどんな場所で、どうして重要なのかを知っ
 ても ちがさき まも さとやま たい し ともだち おし
 て、どうやって守っていくか考えることが大切です。みなさんも、大切な
 しぜんかんきょう まも さとやま たい し ともだち おし
 自然環境を守るため、里山はっけん隊！で知ったことを、お友達にも教え
 まも かんが
 て、みんなでどうやって守っていくか考えましょう。

やなぎやと
 柳谷

しな い さいだい や と しな い もっと おお
 市内最大の谷戸で、市内で最も多くの
 どうしよくぶつ かくにん すいでん しっち
 動植物が確認されています。水田・湿地・
 さいりゅう くさち かく じゅりん
 細流・草地などやこれらを囲む樹林が
 ひろ
 広がっています。

さとやまこうえん
 里山公園は、
 やなぎやと
 柳谷にあるよ！



だい かいしぜんかんきょうひょうかちょうさ
 第4回自然環境評価調査の
 ちようさいんぼしゅうちゅう
 調査員募集中！（7/31まで）
 さいご み
 最後のページを見てね！



さとやま たい い まえ よしゅうへん
里山はっけん隊！へ行く前に② ～予習編～

さとやま
里山ってどんなところ？

さとやま にんげん むかし てい つく あ みちか しぜんかんきょう
 里山は、人間が昔から手入れをしながら作り上げた、身近な自然環境で
 むかし にんげん さとやま た もの みず ねんりょう せいかつ ひつよう
 す。昔から人間は、里山のめぐみから、食べ物や水や燃料など、生活に必要
 く さとやま にんげん すいろ ひら た
 なものをいただき暮らしていました。里山では、人間が水路を開き、田んぼ
 はたけ たがや ぞうきばやし てい しよくがつ こんちゅう ことり
 や畑を耕し、雑木林の手入れをすることで、さまざまな植物や昆虫、小鳥
 い い かんきょう たも
 など、たくさんの生きものが生きられる環境が保たれてきました。

自然の中には人の手で
 いろいろな生き物が暮らせる
 環境が保たれてきた
 ところがあるんだ。

たとえば
 里山の自然ね。

でも、
 化学肥料や石油、
 石炭などの普及で
 里山の雑木林を
 使わなくなったのね。

里山は人の手が
 かわることで、
 いろいろな植物が
 育つ環境になるんだ。

人の手がかわった明るい森

林床にいろんな植物

ほったらかしの暗い森

林床はアズマネザサなどでおおわれ、
 植物の種類が少ない

しゅってん
 出典：こどもエコクラブホームページ

たい ちが さきさとやまこうえん
 「はっけん隊！」のフィールド、「茅ヶ崎里山公園」

さとやま たい かつどう けんりつ ちが さきさとやまこうえん
 「里山はっけん隊！」の活動フィールドは、県立茅ヶ崎里山公園です。

こうえんない た はたけ ぞうきばやし みずべ さとやま ふうけい
 公園内には、田んぼや畑、雑木林や水辺などからなる里山の風景が

ひろ かんきょう く あ
 広がっていて、ちがった環境が組み合わさることで、

い はくく
 たくさんの生きものが育まれています。

しっち た
 湿地(田んぼ)



くさち
 草地



ちくりん
 竹林



はたけ
 畑



ぞうきばやし
 雑木林



さとやま たい れいわ ねんど なつへん
里山はっけん隊！ ～令和5年度 夏編～

ミッションその① 夏の田んぼで、生きもののつながりはっけん！

田んぼがお米を作るところというのは、みんな知っているよね。だけど、田んぼには、お米を作るだけでなく、じゅうよう やくわり すごく重要な役割があるのです。

せいぶつたようせい 生物多様性という言葉を聞いたことがあるかな。生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。私たちの暮らしは、食料や水など、多様な生きものが関わりあう生態系から得られる恵みに支えられていて、生物多様性を守ることは、私たちにとって、とても大切です。

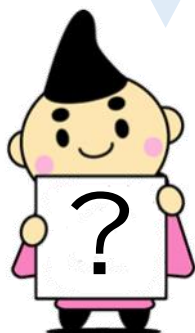
まいとし にんげん て 毎年、人間の手によって水が張られ、手入れがされる田んぼは、たくさんいのち ほうこの生きものが暮らす命の宝庫。田んぼでは、お米作りという、昔からの、ひと しぜん いとな人と自然の営みのなかで、生物多様性が豊かに維持されてきたのです。

夏の田んぼは生きものがいっぱい！

こんかい 今回は、ひみつアイテムも使って、ちい 小さい生きものを観察するぞよ。
田んぼを一周したら、いっしゅう 気になった生きものを教えてね！



ぜんかい 前回観察した春の田んぼ



観察のポイント

- ・どこにいたかな？
なか くさ うえ つち 水の中、草の上、土の上 など
- ・どんな動き？
うご 大急ぎで動く、じっとしている など



さとやま たい れいわ ねんど なつへん
里山はっけん隊！ ～令和5年度 夏編～

ちから あ しっち まも
ミッションその② 力を合わせて湿地を守れ！



はたけ むら しっち
「畑の村」の湿地

さとやまこうえんきた い
里山はっけん隊！では、里山公園北の「畑の村」の湿地が、たくさんの生
きものが住める環境になるように、外来種の抜き取りなどの保全活動をし
ています。柳谷の斜面林がたくわえた「絞り水」が湧き出る、この湿地は、
近年、乾燥化が進み、生きものが住みにくくなっていましたが、ボランティア
の方たちの保全活動により、生物多様性の回復の兆しが見えてきています。

わたし
私たち里山はっけん隊！も、
ボランティアの一員として、豊かな自然環境をつくるお手伝いを
します。生きものいっぱいの湿地を目指して、みんなで力を合
わせましょう！（軍手と長靴を
用意してね♪）

セイタカアワダチソウなど、
繁殖力が高い外来種を
放っておくと、もともと
そこにいた在来種の
生きものが住めなくなって
しまうので、保全作業で
抜いているのよ。



さとやま たい れいわ ねんど なつへん
里山はっけん隊！ ～令和5年度 夏編～

なつ しっち くさち い
ミッションその③ 夏の湿地や草地で、生きものはっけん！

みどり なつ さとやま いちねん かっぱつ かつどう
緑あふれる夏の里山は、一年でいちばん、生きものたちが活発に活動し
しっち しっち みず なか い
ています。湿地のまわりや水の中には、どんな生きものがいるのでしょうか？

す きら い た す ぼしょ す
みんなに好き嫌いがあるように、生きものにも、食べものや住む場所に好
きら い きも い
き嫌いがあります。生きものの気持ちになって、なぜその生きものがそこに
かんが
いるのか考えてみましょう。

さが き うえ そら ちゅうもく み みみ き
探すときは木の上や空にも注目！ 見るだけでなく、耳をすませて聞いて
だいじ しよくぶつ み にお さわ
みることも大事です。植物を見つけたら、匂いをかいだり、触ってみよう。
き ふ かえ
気づいたことは、メモしておく、あとで振り返りができるよ。

★こんなのいるかな？ どこにいるかな？ なにしてるかな？



しぜんかんさつ つか
自然観察ではスマホアプリ「バイオーム」を使って
みるよ。

つか かた ほごしゃ かた いっしょ ベっし
アプリの使い方は、保護者の方と一緒に、別紙で

よしゅう
予習しておいてね。



ちきゅうおんだんか しない い へんか えいきょう 地球温暖化による市内の生きものの変化や影響

～市ホームページから～

さいきん むかし くら みぢか み かん ひと
最近、「昔と比べて、身近に見られる生きものが変化した」と感じた人は
いませんか？ 市では、市ホームページ内に「脱炭素ポータルサイト」を設
け、茅ヶ崎市の気候変動の影響について情報発信しています。「生きもの
の変化」についても、温暖化が原因の可能性があると紹介しています
ので、興味がある方はぜひご覧ください。

増える生きもの 蝶類

1999年に鎌倉市中区、鎌倉市、三浦市で成虫が記録され、2000年には三浦半島から相模地域の広い範囲で成虫が記録され、茅ヶ崎市では市内各地で確認される。現在、県内各地で普通に発見されるようになった。



物産川根下では、1980年代前半まで明らかになかった。ところが、1990年に大磯町生沢でスキから卵に発見が確認され、県内で初めて発生が確認された。1995年までの間に県内各地で発生が確認され



気温が高くなるにつれて、分布域が広がっている。また、都市部にも見られるようになった。

増える生きもの 甲虫・トンボ

1980年代川根内において、少ない種が確認された。1998年以降、2005年に普通に見られるようになった。分布域は、市域まで拡大している。

本種は、日本では沖縄本島以南の南西諸島、世界では中国南部、台湾、インドシナ、ミャンマー、インド等、熱帯～亜熱帯に分布している。本州、四国、九州には近年侵入して、分布域を拡大している。サツマイモ、ノアサガオ等のヒルガオ科植物を食べる¹⁾。



日本最大級のムジュークは、ホシテントウやアゲハの倍の大きさ。関西から広がっていると書かれたが、2013年県で記録され、東各地でも見られるようになった。温暖化による可能性がある。

増える生きもの クマゼミ

南方系のセミで、かつては城ヶ島と大磯町を結ぶ線より南側に分布するとされていた。2000年頃から従来の分布域より東側・北側でまとまって発生する場所が増えている。

茅ヶ崎市の中央公園、浜見平、小田原市西酒匂、大磯町月京、藤沢市・辻堂海浜公園、横浜市原区緑園・栄区、横須賀市不入斗町(いりやまず)一丁目・不入斗運動公園などでまとまった記録が得られている。

大磯丘陵や県西部の丘陵地のミカン畑でも発生しているが個体数は少なく、公園などの都市環境で数多く発生し、そこを拠点にさらに分布を拡大している。

※2016年以降、茅ヶ崎市内外各地、小田原市中甲・鶴岡・久野、平塚市海岸部など、これまで生息が知られていなかった地域でもぬめけらがみつかり、分布範囲がより拡大していることが明らかとなった。

参考情報

茅ヶ崎市HP「中央公園には、クマゼミが5,000匹もいる!？」
茅ヶ崎市HP「クマゼミはなぜ増えていっているのでしょうか?」



クマゼミ
特徴
鳴き声は「シャーシャー」
背中側は真っ黒

市ホームページ:「地球温暖化による市内の生きものの変化や影響」



生きもの調査に参加しよう！

市では、茅ヶ崎の自然を守るため、自然の状況を調べる調査を、市民参加で定期的に行っています。今回の調査期間は令和5年度から7年度の3か年。生きもの、植物が好きなら小中学生でも参加できます(保護者同伴)。エントリー期間は、7月31日まで。たくさんの参加をお待ちしています。



詳細はこちら⇒

里山はっけん隊！リーダーの皆さん（柳谷の自然に学ぶ会）は、1月に1回、植物調査を行い、貴重な植物の保全活動（近くの草刈り、枝落としなど）を行っています。

毎月開催している自然観察会に参加すれば、おなじみの達人たちの案内で、柳谷がもっと身近に感じられるよ！

次回の観察会は、7月23日（日）10時から12時

テーマは「水性生物を見よう」パークセンター前集合/当日受付です。



「柳谷の自然に学ぶ会」の活動に参加したい人は、事務局長の白田さん（0467-88-5586）、会長の野田さん（0467-51-8489）に御連絡を。